

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：谷口自治会

開催場所：谷口下公民館

開催日時：平成 29 年 3 月 10 日（金）19 時 00 分～21 時 00 分

参加者：自治会側【地域住民の方 50 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、鈴木市長戦略部長、眞部危機管理部長、杉村地域生活部長、今村こども未来部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、駒形戦略推進課係長、小玉初倉公民館長】

内 容

#### ① 松浦自治会長あいさつ

- ・大勢来てくれるか心配をしていたが、皆さん来ていただいてありがとうございます。
- ・車座トークということで、皆さんから忌憚のないご意見をいただき、また、市長の話を聞いて、谷口地区が発展するように有意義な時間としていきたい。

#### ② 市長からの市政報告

##### ■はじめに

- ・車座トークは、本日 65 回目。3 月末までには全 68 自治会をまわる。
- ・地域は色々な課題を抱えている。島田は広いと実感している。
- ・昨日から、渋谷のロフトで島田市緑茶化計画と島田市の紹介をしている。ターゲットは 30 歳代の女性。島田茶を飲んでもらっている。
- ・一口飲むと、皆さんお茶の美味しさに驚かれる。島田市のブランドとして作ったお茶が売れている。島田の逸品も持っていき、お茶羊羹はよく売れている。
- ・売場の真ん中に茶畑を出現させている。都会の方には初めて見る茶樹でお洒落な空間を作っている。大画面で島田のプロモーション動画を流しているため、島田市に遊びに来てくれる人が増えることを期待している。世界で一番緑茶を愛するまちの宣言をしている。
- ・市長は、まちの中の行政運営のリーダーシップと共に、外に島田市を売り込み、財源を引っ張ってることが仕事の一つであると感じている。

##### ■これからの行政のあり方、地域の抱える課題への取り組みについて

- ・島田のまちで一番の問題は、高齢化と人口減少である。
- ・道路、橋、陸橋も昔は色を塗り替え新しくなったものが、今は国道の陸橋でさえも錆が出てくる状況になり、日本の社会全体が高度成長期とは逆の時代

を迎えている。これからの行政やまちづくりを考えると、大きな課題となっている。

- ・私は正直にお話をさせていただき、実態と違うことを言うつもりはない。厳しいことを言うかもしれないが、皆さんと一緒にどのように解決していくかという方向性でお話したいと思っている。
- ・現在、島田市の人口 10 万人。国の調査によると、2040 年に約 8 万人となるデータがある。子育てしやすいまちをつくっても、子どもを産む若い女性の数が減っている現状で、女性が 2 人、3 人産んでくれても、女性が多かった時代と比べると子どもの人数は相対的に減っている。一気に人口を増やすことは難しい。
- ・産まれる子どもの数が減り始めたのは 1975 年。ただし、寿命が延びることで人口が減少しなかった。戦後の平均寿命 52 歳が、今は女性 87 歳。子どもの数が減ってきていることが見えなくなっていた。
- ・3 年前に消滅可能性都市という若い女性が住まないまちは将来無くなってしまおうという話が出て、働きやすい環境や子育てしやすい環境をつくり、東京に一極集中している若者を地方に呼び戻すことが地方創生の目的。
- ・島田市も人口減少により税収が減る。また、島田と金谷が合併してから 10 年間は 2 つの市町分の地方交付税が貰えたが、平成 28 年から段階的に減額され、平成 32 年には合併算定替 12 億円分が減収となる。
- ・現在、労働人口は約 6 割強。2040 年には約 5 割となるため税収が減っていく。
- ・こうした時代に、どうやって島田市はお金を稼ぐのか、どうやって若者に選んでもらえるまちにするのか、どうやって高齢者に安心して住んでもらえるまちにするのかが大きなテーマ。
- ・一昨年まで、医療・介護・福祉の扶助費というお金が、一般会計予算の約 30% だった。昨年は 33% になり、今年は 34.5% になる。4.5% 増が 15 億円増に相当する。
- ・日本は、全員が保険に加入できるため安心して受診できるが、医療費が高額化している。C 型肝炎の薬が 1 錠 8 万円、3 か月服薬すると 720 万円となる。皆さん保険があるので月 2 万円ずつの負担で残りは保険が負担する。肺ガンの薬も 1 年分が 3,500 万円。これも皆さんの負担は月 2 万円。保険負担分が増えている。
- ・昔のように何でも造れば良い時代ではなくなった。真に必要なものを選んで予算を使わなければならない。借金をすれば何でも出来る。その借金は、私たちの子孫が返すことになる。今出来ることは、自分たちの時代で解決していきたいと考える。学校や病院は、将来の人も使うため公平に負担をしてもらうことは当然だと思うが、予算の使い方をしっかり考え、財政が健全化し、次の世代が島田を選んでもくれるようにしたい。
- ・目に見えることはわかりやすいが、目に見えないことで皆さんの安心安全を守る取り組みもたくさんある。登録したひとり暮らしの高齢者には、何かあれば職員等が訪問できるシステムがある。元気で長生きできるように、運動器具の整備やイベント等に力を入れている。
- ・子どもたちの教育環境で保護者も学校を選ぶため、重点的にやっていく。
- ・平成 29 年度は、初倉地域を ICT で人を呼び込むモデル地域に指定する。初倉小学校にタブレットを配置して学習できるようにする。外国人の英語の先

生を初倉専用に配置したいと考えている。英語に触れる機会を増やし、コミュニケーション能力を向上させたい。教育水準が高ければ、若者は選んで来てくれる。

- ・市内全校にタブレットを配備すると約4億2千万円かかる。タブレットは3年に一度更新するため予算がかかる。しかし、数年後には、学校にパソコン教室が無くなり、子どもたちはタブレットで授業をするようになると思う。
- ・平成29年度、プログラミングも先進的な取り組みを実施していく。4月には、人型ロボット（ペッパー）を市役所の総合案内に配置する。
- ・今後5年間、藤枝市と協力してICTで人を呼び込むために教育と産業に力を入れていく。
- ・平成29年度は、北部地域の光ファイバーが入っていない地域に光ファイバーを整備する。
- ・島田市は、平成29年4月から川根温泉のメタンガスを活用した発電を開始する。川根温泉ホテルの年間電力使用量の約6割を賄えると思う。その電力分をホテルから金銭でいただく。メタンガスは色々な温泉から出ているが、鉱山法の改正により開発権を得ることが難しく、島田市は3年掛って全国初の採掘権を取得することができたため、全国から客が来ると思う。
- ・島田市は、太陽光・水力・メタンガス・田代溶融炉のゴミ発電・民間会社のバイオマス発電等により、平成29年度末には年間電力使用量の37%を再生可能エネルギーで賄える先進都市になっていく。全国屈指の再生可能エネルギーの稼働率。照明のLED化や会社設備を省エネのものに更新することに補助をする等、島田市が特化することに磨きをかけて実施していく。
- ・子育て支援は県内一、二だと思うが、新たな施策を実施して県内トップの子育て支援のまちなれるようにしていきたい。
- ・新東名の島田金谷インター周辺は、84ヘクタールの土地を都市的土地利用ができる目途がついた。JA大井川、大井川鐵道、NEXCO中日本、島田市の4者で賑わい交流拠点や工業用地を整備するためのインフラ整備をおこなう。島田市が、新東名下に空港と同じような大規模駐車場をつくり、奥大井に入る観光の玄関口にする。
- ・平成28年4月、中小企業の皆さんのために島田市産業支援センターを立ち上げた。年間相談件数1,200件が目標だったが、約2,500件の実績となった。1年間で23,24件の新規会社を市内で起業する人が出てきた。99%が中小企業のまちであるため、こうしたことを支援していくことで産業振興への後押しをしている。
- ・出来る事と出来ない事を分けて考えないとならない時代となり、順番を待っていれば何とかしてもらえないものではない。道路関係の国予算が15年前の3分の1となった。現在整備中の道路は継続していかなければならないが、新規に整備しようとしている道路は1年遅れ、2年遅れになることもある。国道1号線バイパスの拡幅も、平成30年度初旬に完成と言われていたが遅れている。
- ・予算が付かないと出来ない事がたくさんある。そうした中で順番を待っているだけでなく、出来る事は地元の皆さんと一緒に解決していきたい。
- ・一例として、道悦地区の取り組みは、1時間利用券500円、ゴミ出し1回150円のチケットを高齢者に購入してもらい、地元のボランティアが生活支援をしている。
- ・他には、湯日では放課後の子どもを集めて、ボランティアが初倉西部ふれあいセンターで子どもを見ることを実施している。

- ・島田の北部では、市がワゴン車・燃料費・保険・人件費を負担するので、自分達で地域内の路線バスを運行する検討をしている。
- ・皆さんの提案をいただく中で、行政も柔軟に対応していきたいと思っている。一緒に、皆さんの地域がもっと住みやすくなるようにしたい。一緒にやることは簡単なことではないが、これからの時代はそうしていかないと住みやすい地域にならない。安全や安心も保てない。地域の高齢者を見守るために、市は保健師を派遣しているが、行政の目の届かないところがたくさんある。地域の皆さんの力で支援していただきたい。
- ・島田は、自分たちで地域を良くしたいと思う人が大勢住んでいる。その気持ちがあることが他市町と違う。商工会、JC、おしゃれボーイズ、シマアツ等の若者が動いている。島田は、若者を育てるまちにしていきたい。
- ・平成28年度、六合駅南口のトイレを改修した。ロータリーも今後改修していく計画。
- ・平成29年3月末、東町御請線が開通するため、六合駅周辺の渋滞が緩和すると思う。
- ・初倉は、谷口中河線や色尾大柳線の整備を進めていくため、交通結節点となる。
- ・はばたき橋から西進した南原から牧之原市坂部に通じる空港アクセス道路も事業着手している。
- ・この4年間、行政の直接の運営ではないが、特に心掛けてきたことは3点ある。
- ・一つ目は対立軸を生まないこと。島田市は一つにならないと外に向けて力を発揮できない。
- ・二つ目は人材育成、世代交代。優秀な方や立派な方は大勢いるが、30代40代の方が育たないと20年後が無い。若者を育てるため、審議会や委員会等に若者を積極的に入れている。
- ・三つ目は市役所の改革。市役所は究極のサービス業をする会社。昔のようなゆっくりとしたスピードで行政が進んでいたら、民間の皆さんには満足していただけないし、民間活力を導入して仕事ができない。情報公開と合わせて、行政の活動を皆さんにお知らせしていくようにしている。

#### ■谷口自治会の人口、世帯について

・谷口自治会の平成29年2月28日現在の世帯数は261世帯、人口は798人で、高齢者人口（65歳以上）は269人、高齢化率は33.7%となっている。市の平均が29.7%なので4ポイント高い。15歳以下の人口99人で人口に占める割合は12.4%となっている。市の平均は13.7%なので少し低いが大きな差は無い。市内でも高齢化率が4割、5割を超えている地域もある。子どもの割合が一桁台の地域も増えてきている。

#### ■最終処分場について

- ・埋めた箇所全てを2.5mから3m掘り返して放射線量を測定したが、放射線量は島田市内から出るゴミと同等またはそれ以下であった。震災ガレキは、放射線を浴びたガレキではなかったと思う。しかし、そのゴミを受け入れるとき、地元の皆さんの理解を得ないで、また、十分な説明をしなかったことが、大きな不安を与えてしまったと思う。風評被害が続いて、お茶を生業とする初倉の方々、島田市、静岡県中に辛い思いをさせてしまった。
- ・放射線量は、掘り起こして調べて問題が無いことがわかった。それでも心配な方もいるため、埋めた場所全体を、放射線を防ぐゼオライトシートで囲っ

た。

- ・平成 27 年 7 月に裁判で島田市が敗訴してから、反対地権者の皆さんにご理解がいただけないか話し合いを続けてきたが、最終処分場は平成 29 年 3 月末で県許認可の期限となる。4 月以降も使用するためには、県の許可を更新しなければならないが、地権者全員が賛成することが条件だった。全員の同意が得られなかったため更新できなかった。3 月末で最終処分場は閉鎖する判断をした。
- ・当面の間、溶融飛灰は民間業者に処理を依頼していく。焼津市、藤枝市、吉田町、牧之原市も外出しをしており、自前の最終処分場を持っていない。
- ・外出しをすると同時に、候補地についても調査していく。3 年前から候補地を調べた。6 箇所の候補地があったが、約 20 年使える広さの有無、運び入れるための道路の有無等を調べた結果、適地は見つかっていない。周辺に住宅が密集していると難しい。そうした条件を満たす場所を探し続けている。その場所が決まるまで、最終処分場に埋めるのではなく外に出していく。
- ・最終処分場は、3 月までに 1 万トンの覆土を入れている。更に 1 万トンから 2 万トンの覆土を平成 29 年、30 年度の 2 年間で入れ、ある程度の形にしていく。
- ・使わなくなって直ぐにお返しできるものではない。何年も排水の水質調査をして、問題が無いことが確認できたところで県が閉鎖の許可を出す。その期間は 4、5 年の見込み。その間、土地は島田市が借り続ける。地権者の皆様には、土地の賃借料をお支払いしていく。県から閉鎖の許可が出たところで、地権者の皆さんに土地をお返しできる。3 月末で閉鎖したから直ぐにお返しできると思うかもしれないが、市が何年もモニタリングをして、県が閉鎖の許可を出す。少し時間はかかることを理解していただきたい。まだ数年は借り続けなければならない土地であり、地権者の皆さんのご意見も様々であるため話し合いをしながら進めていく。
- ・市は排水の状況や空気中の放射線量を測定しているが、県も排水を 3、4 年と検査して閉鎖していく。
- ・長い間、皆さんにご心配をおかけして、生活にまで支障があったと思う。心からお詫びするとともに、行政のこれからの仕事は、市民の皆さんにご理解ご納得いただけるように説明していくことだということが今回の教訓である。
- ・これからも閉鎖になるまで、市としてもしっかり管理をしていくのでご理解をいただきたい。

#### ■農業振興について

- ・普段は、「青地を白地に変えてください」という意見が多いが、初倉はサニーレタスの日本一の産地であり、水田やお茶もあり、最良な農業地帯であるため守るように事前に意見をいただいている。
- ・島田のお茶をどのようにして外に売っていくのか、様々な施策を実施している。初倉の中でも、青地を白地に変える意見をたくさん聞く。今回、「簡単に白地にしないように」という意見をいただいた。お茶の消費拡大や宣伝をしっかりと実行していきたい。
- ・今年 1 月、2 月、横浜市のアピタ長津田店に、島田茶・初倉のレタス・山芋・神座みかん・川根の椎茸等を持って若手生産者と売り込みに行った。最初は売れるのか心配していたようだが、大変な売行きだった。農産品と合わせてお茶を買っていただいた。緑茶だけでなく、紅茶も作っており、島田の色々なお茶を売り出している。

- ・4月以降もアピタ長津田店だけで年6回程度は行き、リピーターを付けていく。売れ筋が良ければ、アピタで販売してもらうことができるため売り出しをしていく。
- ・平成29年度は、台湾、ベトナム、アメリカ等に売りに行く。現在も、アメリカに市職員と島田のお茶屋が商談に行っている。
- ・平成29年4月1日から、お茶に特化した茶業振興室を農林課内に設置する。農業経営改善指導の専門員、耕作放棄地対策の専門員と別に、出口戦略（販売・消費拡大）の専門員を配置して、お茶の振興に努めていきたい。
- ・今回の東京でのプロモーションも、市場調査として行っているが、お洒落な缶で良いお茶を少量買いたい、急須が無いのでティーパックが良い等の意見を聞く。良いお茶を生産するだけでなく、今の人たちのニーズに合う売り方を考えなければならない。
- ・昔ながらの茶袋と可愛い桜の花の茶袋では、可愛い方が売れる。パッケージ一つでも売り上げが違う。
- ・茶振協との連携の中で、島田茶のブランド力を高めていく。市外にお茶の宣伝に行く場合、1回5万円の補助をしている。
- ・売れ筋の甜茶と有機栽培は、いくら作っても売れる状況になってきている。金谷や川根では、甜茶を栽培する若者が増えてきた。有機に転作する方もいる。市では、残留農薬を検査する費用1回5万円、有機JASの認定を受ける費用1回5万円の補助金を用意している。平成29年度から、有機栽培に転換したい方には、3年間1反当たり4万円の補助をしていく。
- ・中間管理機構等を使って、畑を借りて農業をやる方には、国も10アール当たり24万円の補助金を出しているが、島田市も1反当たり8万円の補助を出している。
- ・皆さんから一番要望が多かったが、がんばる認定農業者支援事業の1件当たり80万円の補助金は、平成28年度を最終とした5年間の補助だったが、平成29年度以降も5年間は継続する。
- ・新規就農者に対して、300万円を限度とした国の補助がある。昨年、市内の3人の若者が申請をしたが誰も国の補助金を受けられなかった。複合経営や商品化等をやらないとポイントが低くて受けられなかった。島田市は、市独自で100万円を限度として新規就農者に補助をしたいと思っている。
- ・様々なことを皆さんに話を伺いながら、お茶にも力を尽くしていきたい。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■農地保全等について</p> <p>この地域の農業形態は、夏はお茶、秋から翌春までレタスで生計をたてている。JA大井川の部会長が言うには、サニーレタスの品質は日本一である。京浜地区の市場から信頼がある。</p> <p>お茶については難しい時代だが、静岡の茶商から品質や味が良いと言われている。</p> <p>ブランド産地を今後も維持発展させていく上で、農業者が努力することは当然である。茶振協や市が頑張っていることはわかっているが、農家個人の力では限界がある。</p> <p>レタスは日照と風が大切なので、無秩序な転用や開発を避けたい。個々の地権者の考え方があり、白地にして売りたい方がいることも事実。市としても工場等を誘致して雇用の場を確保したいところもあると思うが、計画性を持って転用をしてほしい。</p> <p>道水路についても修理をお願いしたい。</p> <p>消費宣伝活動は、市として実施している話があったが継続してほしい。</p>	<p>●農振法と農業法により、簡単には白地にはできない。初倉地域は優良農地として土地改良をしているため、農地を保全していく。</p> <p>空港隣接の地域にぎわい空間創造事業により、岡田地区等の路線拡幅工事を行っている。今後は、南原地区等で空港隣接事業を使って道路拡幅をしていく。水路も旧初地区で改修事業を行う。その他の改修事業については、地元からまとめて要望をいただければ、優先順序に合わせて対応する。簡易な修繕については、すぐやる課が対応したり、原材料の支給等で対応することができるため農林課に相談をしてほしい。</p> <p>原則、お客様にペットボトルを出すことはしていない。急須で淹れるお茶でおもてなしをしている。緑茶愛を育むことが島田市緑茶化計画である。茶畑の景観は、都会の方には魅力的であり、そうしたもので人を呼び込み、島田市民の自信と誇りに繋がれば良い。</p>
2	<p>■島田市のPRについて</p> <p>観光ルートで島田市に来てもらえるよう県内外にPRしてほしい。観光客に市内でお金を使ってもらい活性化できれば良い。</p>	<p>●観光ルート作り、志太3市と一緒に地図作成、川根本町や大井川鉄道と組んで台湾やシンガポールへの売り込み等を行っている。シンガポールでは、島田の特集記事が出た。</p> <p>観光課は、静鉄観光の営業本部長だった方を雇用して観光に力を入れるようにしている。行政職員も必要だが、1つの分野の専門家を配置していくことも必要である。市役所の外にも顧問弁護士がいるが、役所内にも弁護士を配置している。観光や博物館、お茶の専門員もいる。危機管理官が自衛隊から来たことで危機管理が現実的に動くようになった。</p>

		博物館の刀剣展（3 銘槍）には、1 週間で全国から約 1 万人が来た。街中を歩いて観光してくれた。
3-1	<p>■最終処分場の活用について</p> <p>最終処分場が終了することで、議会や広報を通じて、また、今回も「地元の皆さんにはお世話になった」と言ったが、お礼という形で事業をやってもらえないか事前に提案した。（最終処分場の公園化）</p>	<p>●敬満の弓道場や道路整備等、地元貢献という形で地域振興を図る手伝いをしながら、最終処分場を造らせていただいたと思う。ここ数年は、グレーチングの修繕についても迅速な対応をさせていただいている。</p> <p>公園のご提案は、素晴らしい提案であるが、まず土地をお返しすることを第一として、その後に土地を使わせていただけるのかどうかという話になる。すぐに返してほしいという地権者もいる、売りたい地権者もいるかもしれない。地権者の皆さんの意向を伺っていくことが必要。</p>
3-2	<p>■あの形で終了すると、使い道の無い土地になってしまうと思う。蓬莱橋から来ても何も無い。出来るかどうかは今後の問題であり、そう簡単には出来ないとは思いますが、一つのプランとして頑張してほしい。</p>	<p>●今後、3 万トンの土を入れる。少し形状を直す形になるので、まずはその工事をする。</p> <p>国土交通省のかわまちづくり事業により、今年秋には第 1 期工事として、蓬莱橋左岸側にお休み処・物品販売所・トイレを整備する。その下の河川敷に花壇や駐車場を整備する。事業区間は蓬莱橋から博物館までの両岸としている。蓬莱橋左岸側を整備した後は、博物館前なのか、蓬莱橋右岸を整備するのか、初倉の方にも参加していただいているミズベリング協議会で議論する。百人会議の観光分会の方も、蓬莱橋右岸側で茶店をして評判が良かったため、そうしたことを合わせて、順番に蓬莱橋周辺は整備をしていきたいと思っている。</p> <p>公園の意見は、素晴らしい提案だと思う。今後、4、5 年掛かる中で、地権者の皆さんの考えを伺いながら、提案としてお聞きしたいと思う。</p>
4	<p>■保育園入園選考について</p> <p>4 月からの保育園利用希望の申請について、浜松市の表が、11 月から 4 月入園までの動きがわかって大変良かった。島田市は、文章で「1 月に通知書を発送する」だけだった。</p> <p>子どもを 4 月に入園させて働くつもりだった。10 月に提出してから市が保育園を決めてくれると気楽に考えていた。待っている間、年末ま</p>	<p>●良いご意見をいただいたと思う。保育支援課で、保育園の入園の流れを図化したものを作成して配布したいと思う。</p> <p>不承諾通知書が届いたが、後日申し込んでいない再選考の連絡があったと事前に聞いている。再選考を望まない方以外は、全員に 2 次、3 次の方でお知らせをしている。申し込んでいないのに来たのではなく、再選考はキャンセルの申し出があった方以外は、全員を対象に保育の必要度が高く、</p>

	<p>で周囲の友達から、保育園が決まったか聞かれ続けた。1月に通知が届くまでわからないことを各友達に話をしたが、浜松市のような表があれば説明しやすい。</p> <p>保育園の先生も得点が高い子どもから入園することは把握しているが、選考の流れを知らないため逆に質問された。保育園の先生も入園までの流れを把握してくれれば、待っている方はありがたい。</p>	<p>入園が可能となった方に連絡をしている。</p> <p>浜松市のように「保留」とした場合、待てば入園できると思う人もいるため表現が難しい。現在は「不承諾通知書」とさせていただいている。</p> <p>平成30年4月までに待機児童ゼロを目指している。平成29年度中に0から2歳児の定員を約80人増やす予定。平成30年4月には、認定こども園等を含めて全体で200人の定員が増えると思う。</p> <p>LINE「しまいく」で情報を配信しているので、登録して利用してほしい。</p>
<p>5</p>	<p>■市民会館について</p> <p>先日、市役所に行ったとき、市民会館が無くなり駐車場が広くて便利になった。便利になって良かったと思ったが、市民会館はどうなるのか。</p>	<p>●市民会館は、耐震性に問題があり取り壊しをした。</p> <p>市役所も築54年、プラザおおりも築35年が経過している。市役所裏の公文書書庫も耐震性がない。職員駐車場や中央小公園まで含めると34,000㎡の土地がある。</p> <p>市役所とプラザおおりだけで22,000㎡。平成29年1月から市役所周辺整備検討委員会を設置し、市役所や市民会館の機能をどのように再生するのか検討をはじめた。</p> <p>市役所もコンクリートの寿命が60年と言われるなか、設備が傷んでいる。新病院建設も50年に一度の事業で、平成32年度には開院する予定。大きな事業が重なる時期を迎え、今後どのようにしていくのか、市民会館の機能を含む市役所周辺について検討している。今年中には、皆さんに報告できると思う。</p> <p>建設するなら、市民会館の跡地しかないと思う。現市役所の土地をマンション用に売り、販売額で郊外の土地を購入して市役所が移転するという意見もある。現市役所の場所は、都市計画法の第2種住宅地域となっており、市役所より高層の建物は建てられない。用途地域を変更する場合も、近隣の皆さんの合意が必要。高層マンションとして数十世帯が入居して、少しの人口増のために、他の市民の皆さんにとって市役所が不便なところになってしまう。利用する市民の利便性や、建設するまでに要する時間や</p>

		<p>経費、労力を考慮すると、他所に建てることは大変なこと。これからのまちづくりは、機能を集約してコンパクトにすることが、市民の皆さんにとっては有利だと思う。</p> <p>建てる手法は、市役所だけを建てるのではなく、市民会館と市役所が一緒でも良い、色々なやり方があり柔軟に考えていきたい。解体した市民会館の再生、機能が重複するプラザおおりの使い方、市役所の再生を一体的に考えていく。</p> <p>基本的に建てる所は市民会館跡地だと思う。したがって、駐車場は薄い舗装で整備している。</p>
6-1	<p>■ピーファイブの活用について</p> <p>本通5丁目のピーファイブは市の所有か。</p> <p>以前1階にパチンコ屋があったが、今は何か使っているのか。</p>	<p>●まちづくり島田の所有。</p> <p>パチンコが撤退してから10数年空いている。中心市街地であり、市も何とかしたいため、平成29年度予算で、ピーファイブの1階半分の場所に音楽の練習やミニコンサートができる部屋を整備する計画。</p>
6-2	<p>■車も乗れないし、バスしか移動手段が無い。本通にスーパーマーケットが無い。あの場所をスーパーマーケットにしてほしい。</p>	<p>●スーパーマーケットが出来ないか検討したことがある。元がパチンコ屋であったため搬入口が無い。スーパーとしては、商品を裏から入れる搬入口が無い。コンビニも駐車場が無いためダメだった。ファミレスも難しかった。家賃が月100万円ということもある。</p> <p>建物は防音が効き、広い空間がありパチンコ屋には最適。子育て支援に使えないか検討したが、天井は高いが窓が少ない。色々な事情があって買い手がいなかったと思う。行政も手伝いをしながら、人が賑わう場所にしていきたい。</p>
7-1	<p>■固定資産税の徴収ミスについて</p> <p>農地の固定資産税の徴収ミスについて説明してほしい。</p>	<p>●詳しい話はすぐにできないが、10数年前に農地の固定資産税の改正があったとき、改正に合わせた算定ができていなかった。皆さんにお詫びをしながら、誤って徴収した分をお返しする手続きをした。</p>
7-2	<p>■全体がそうだったのか、一部がそうだったのか。</p>	<p>(理事)</p> <p>●多少知っているが、間違っているかもしれない。誤った情報を提供した場合、改めて担当部署から自治会長にお知らせする。</p>

		茶工場等を建てたとき、見かけ上は農地から宅地になる。農地のまま課税すべきところを宅地並の課税にした誤り。農業用施設を建てるために転用したものを、高いお金で徴収していたため。したがって一部だと思う。
7-3	<p>■一部というのは、私が聞いたことと若干答えが違うと思う。 新聞では、7億数千万円の補償を払うという報道だったと思う。</p>	<p>●確か、返したお金は約9千万円だったと思う。 金額も確認して、新聞の切り抜きを含め自治会長を通じて書面でお知らせする。 【確認事項1】</p>
8-1	<p>■都市計画税の使い方について 固定資産税と都市計画税がある。都市計画税は、市のホームページを見ると、公園や道路整備に使うとされていたと思う。都市計画と言えば、市の中心部ばかりに使われているのではないかと初倉の人は懐疑的に思っている。初倉は都市計画税を払っても、初倉に使われていないと思っている。そのようなことがあるのか。 都市計画税と固定資産税を一緒に徴収しているため、固定資産税は一般財源、都市計画税は目的税とした場合に、初倉から徴収した分は全て初倉で使ってくれとは言わないが、少しは初倉に還元されているのか。</p>	<p>●谷口中河線や色尾大柳線は都市計画道路。都市計画道路は、こうしたものを財源として整備している。 公平公正で市民の声が届くまちをつくることが一番重要。昔は、初倉は道路が良くなれないと思っていたかもしれない。優先順序はあるが、初倉も道路整備や水路補修を実施している。山間部には、ニーズが少なくともやらなければならないこともあるが、街中だけしか整備をしていないことはない。しっかり初倉も整備している。</p>
8-2	<p>■都市計画税と言うと中心部だけに使われている気がする。名前を変えた方が良い。</p>	
9-1	<p>■初倉に、図書館等の皆が集えるところが欲しい。</p>	<p>●初倉公民館があることは、他所の人が羨ましいと思っている。 井口の車座トークで言ったが、井口周辺は市内で一番の大都会。店舗が多く、4車線道路があるので、街中の皆さんは初倉が都会だと言っている。</p>
9-2	<p>■六合の知人から、「初倉は島田市？」と言われた。</p>	<p>●初倉が島田市と合併して55年経つ。初倉は、島田と一緒にならず吉田町と一緒になれば良かったと言われたことがある。しかし、55年前の初倉の住民は、一生懸命に考えて島田を選んだ。様々な事情があったと思うが島田を選んだ。現在、吉田町に工場が多いため吉田が良いという話になっている。</p>

<p>10</p>	<p>■コミュニティバスの廃止について          公正公平の点から、利用者が少ないコミュニティバスは止めた方が          良い。2億円の赤字だと聞いている。          コミバスを止めて、タクシー補助はどうか。</p>	<p>●赤字ではなく、コミバスに2億4千万円を使っている。月1回以上の利          用者は約3,800人、それを考えると、確かに市民全員が使っていないと言          われる。          廃止するのではなく、どのようにしたら使いやすい公共交通体系にでき          るのか考えなければならない。効率的な市民の移動手段も確保していかな          ければならない。コミバスは、静岡鉄道が撤退したところを引き受けてい          る。皆さんの要望をすべて聞いていけば、4億5億円あっても足りない。          本数が少ない、利用者が少ないと言われるが、コミバスの要望活動に来る          方は、自家用車で市役所まで来る。皆で乗ることを考えていかないと維持          できない。          市がワゴン車・保険・ガソリンを負担するので、各地域で車両を走らせ          てもらおうことを検討している。乗り合いタクシーに類似したものが使えな          いか実証実験をしてみたい。          タクシーの補助の一例として、75歳以上の高齢者約1万5千人に、月1          回市民病院の往復2,000円分を補助した場合、約4億円が必要。          これからの予算の使い方について、議論をしなければならない。例えば、          給食費を無料にする意見をいただいている。給食費は材料費しか徴収して          いない。光熱費や人件費等は行政が負担しているが、給食費だけで4億2          千万円徴収している。給食費4億2千万円を無料にするなら、学校に指導          員を増やし、外国語教師を配置し、タブレット等の施設環境を整える方が          先だと思う。お金の使い方は、皆さんに事情を話す中で、意見を聞きなが          ら考えていくべきだと思う。          コミバスは、全員を満足させることは無理。コミバスが来ていない地域          もある。</p>
<p>11-1</p>	<p>■空港バスの利用について          空港バスを毎日見ているが殆ど利用者がいない。途中で停めることが          できないのか。</p>	<p>●空港バスは、市ではなく静岡県が運行している。          道路運送法で、バス停に停めるには陸運局の許可が必要。空港バスはシ          ャトルバスとして空港と駅の間だけで走っているため、普通の路線バスと</p>

		異なる。
11-2	<p>■市が県と交渉して、そのようなことができないのか。 勿体ないと思う。</p>	<p>●既に県と話をしている。県の返事は、空港の利用者を早く駅まで運ぶための交通機関。シャトルバスとして運行しているので難しい。 初倉の皆さんは、ナフコ周辺で乗せてもらって、アピタ周辺で降りたいと言う。</p>
11-3	<p>■最近、藤枝駅行きがある。</p>	<p>●静岡空港を造るとき、島田駅からのバス運行を最優先の条件としている。今も南口からバス運行している。藤枝は試行運行で始めたと聞いている。</p>
12	<p>■蓬莱橋の案内板設置について 蓬莱橋は全国区になっているが、歩きや車に乗った観光客から蓬莱橋に行けるか聞かれる。右岸側から蓬莱橋に行ける案内板を設けてほしい。</p>	<p>●一箇所ある。最終処分場手前から降りる道が急勾配で距離がある。左岸側から蓬莱橋を渡って来ても登りにくい。 案内板を設置しても、蓬莱橋付近に駐車場が無いことが問題。2, 3台は置けても、車両を方向転回する場所が無いことが課題。観光客が右岸側から行くルートが出来ない。課題だと思っており、案内板を含めて検討したい。</p>
13	<p>■お茶の郷について お茶の郷は、県が買って今後どうなるのか</p>	<p>●平成28年6月1日に県に移管した。県は、計画に基づき今年1年かけてリニューアル工事を行う。平成30年3月に、ふじのくに茶の都ミュージアムとして開館する。</p>
14-1	<p>■学校トイレの洋式化について 学校のトイレが洋式でないことで、子どもが行きにくいとの話を聞く。何割くらいか。</p>	<p>●数字はすぐに答えられないが、トイレの洋式化は最優先で進めている。 ふるさと納税の財源も、子どもたちの環境整備としてトイレの洋式化に活用している。ふるさと納税で洋式化した数をお知らせしている。 学校は、一つは和式を残すように言う。実際には、和式はほとんど使われていないようだ。</p>
14-2	<p>■子どもが、和式では我慢してトイレに行かないと聞いている。</p>	<p>●トイレの洋式化は最大の課題であるため進めていく。 最近の子どもは、自宅のトイレの自動化に伴い、トイレの水を流さないこともあるようだ。</p>
15-1	<p>■観光トイレの設置について 大井川右岸側で、トイレが中條像の所に一箇所しかない。敬満神社まで観光客が来るが、谷口自治会の管理するトイレしかない。牧之原台地</p>	<p>●検討課題とさせてほしい。公衆トイレも利用者数に応じて合併処理浄化槽の規模が変わり、トイレを一箇所つくるのに4, 5千万円かかる。 どの場所にトイレが必要か検討したい。</p>

	で観光客が増える場合、トイレを整備してほしい。	
15-2	■夜間、通行する方が公民館に隣接するトイレを利用するが、電気を付けたまま帰ってしまうと地域から意見が出ている。	●自治会から補助金申請をしていただき、5分で電気が消えるようにすることができるかもしれない。協働推進課に相談してほしい。 ⇒公会堂（公民館）の建物内の設備であれば、補助対象となる可能性がある。
16-1	■島田駅のトイレについて 島田駅のトイレにはトイレットペーパーが無い。持ち帰る人がいるため付けないと聞いたことがある。	●駅南から駅北に通じる通路は、市が造った市道。下のトイレはJRが管理をしていると思う。 ⇒実際は市が管理している。
16-2	■ボランティアが掃除をしている。トイレットペーパーは有料。無料にすると大変と聞いた。	●JRに話をしたことがある。体が不自由な方が、トイレに入ってからトイレットペーパーが無いでは困る。JRは、京都等に行けばトイレットペーパーが無い。JRの考え方なのかもしれないが、これからも話をしていく。 ⇒火災等の防止のため、JRからトイレへの設置は控えるよう要請があったため、市で検討した結果、設置しないこととした。
17	■ふるさと納税について ふるさと納税は、島田市民でも島田市にできるか。 島田市の現状は。	●できるので、是非よろしくお願ひします。1万円を寄付してくれば、8千円の所得税控除が受けられる。 ふるさと納税は、皆さんが思うほど自治体の収入になっていない。赤字になっている自治体が多い。横浜市は、一昨年の統計で約60数億円の赤字。横浜市民が他自治体に寄付をして、寄付をした分の所得税控除を横浜市がした。島田市民も他所に寄付をすると、所得税控除を島田市がしなければならぬ。 平成28年度実績は約1億円。黒字になっている。
18	■権現荘跡地の利用について 権現荘は、市有地だが利用されていない。お茶の郷のように施設を造って、お茶のPR等ができないのか。	●島田市の大事な資産。有効活用したいが周囲が全て農地。住宅地の検討をしたこともある。細長い土地であるため色々と使い方が難しく、民間の方々の要望があれば考えていきたい。今のところ、権現荘跡地の利用計画は無い。

※ 7-2の回答以外、全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤ 確認事項に対する対応

質疑応答番号 確認事項番号	検討内容（市長の発言）	市からの回答
7-3 確認事項1	<p>確か、返したお金は約9千万円だったと思う。 金額も確認して、新聞の切り抜きを含め自治会長を通じて書面でお知らせする。</p> <p><b>【確認事項1】</b></p>	<p>1. 課税誤りの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●固定資産税(土地) 全国一律での評価基準の見直しにより、平成12年評価替えから農業振興地域内の農用地(青地農地)を造成し農業用施設を建設した土地については、これまでの宅地課税を改め、農業用施設用地課税(農地価格+造成費)で評価することになったが、一部の土地において宅地課税を継続していた。</li> <li>●都市計画税(土地・家屋) 都市計画区域内のうち、「農業振興地域内の農用地として利用すべき土地(青地農地)」に所在する土地、家屋は市条例により都市計画税を課税しないとしているが、一部の土地・家屋において都市計画税を課していた。</li> </ul>

		<p>なお、旧島田市は平成 17 年の旧金谷町との合併により、以降は課税しないこととするよう税条例を改めたため、平成 18 年度までの遡及となる。</p> <p>2. 課税誤りが発覚した経緯</p> <p>平成 27 年度中に、納税者から農業用施設用地の固定資産税の税額確認が同時期に 2 件あり、どちらも課税に誤りがあったことを確認した。このため、他にも同様の課税誤りがないか、市内全域での調査を実施した。</p> <p>3. 調査の結果</p> <p><b>【調査結果】</b></p> <p>調査の結果、次のとおり課税誤りが確認できたため、税額を更正し過年度に遡って差額を還付することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税額を更正する案件数 71 件</li> <li>・土地 119 筆（固定資産税 66 筆、都市計画税 53 筆）、 家屋数 60 棟（都市計画税 60 棟）</li> <li>・還付対象者数 85（法人、団体を含む）</li> </ul> <p><b>【還付金の内訳】</b></p> <p>固定資産税は最長で 17 年間、都市計画税は最長で 20 年間の差額を還付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税 相 当 額： 71,908,400 円</li> <li>・加算金相当額： 24,384,600 円（加算金は 3 月末を還付日として仮に算出）</li> <li>・合 計： 96,293,000 円</li> </ul>
--	--	---

		<p>4. 課税誤りの原因について</p> <p>平成 12 年度の農業用施設用地の評価基準変更に伴い、評価を変更しなければならない土地を抽出する際、10 万筆以上ある宅地の中から対象の土地を抽出するのに事務処理漏れがあったものと考えられる。</p> <p>5. 再発防止策</p> <p>既に取り組んでいることではあるが、税制改正の情報を速やかに入手し、近隣市町とともに制度の理解に努めるとともに、固定資産税の評価方法を変更する際は、全て書面にて理由書を作成し、複数の職員により評価の妥当性を確認するよう徹底していく。</p> <p>※新聞記事の切り抜きを添付</p>
--	--	---